

みやぎ県南中核病院 院内がん登録集計結果（2021年症例）

・院内がん登録とは

概要：国の法律*1に基づき、自施設のがん診療情報を「定められた項目」で、分析、収集、報告を行うことです。報告に当たっては個人が特定されないようデータを匿名化しています。

対象：一部例外を除き、自施設でがんの診療が行われた全患者を対象としています。

施設：がん診療の中心を担う拠点病院、都道府県の推薦を受けた医療機関、任意で参加している医療機関が院内がん登録を実施、報告しています。

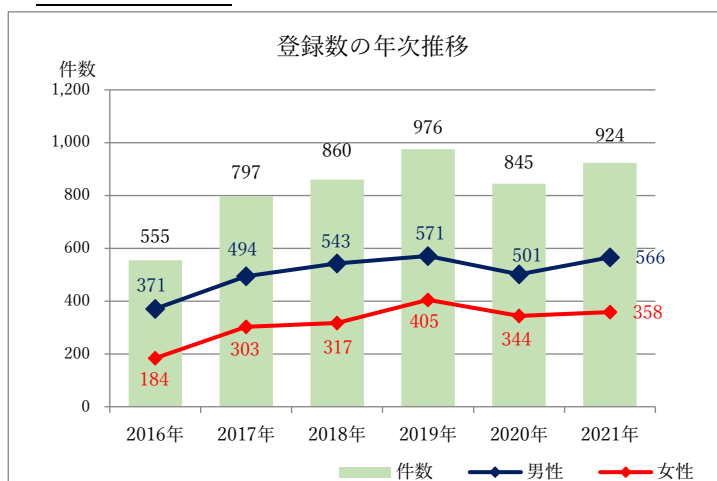
拠点病院の指定を受けるためには有資格者が院内がん登録を実施していることが要件の一つとなっています。当院は「**地域がん診療病院*2**」の指定を受けています。

利用：院内がん登録の統計情報は国で一般公開されています（[院内がん登録全国集計検索システム](#)）。病院毎の診療情報を検索できるので、患者さんが病院を選ぶ際、参考とすることが可能です。

各病院から集めた情報を利用し、国、都道府県においてがん政策の策定、統計資料の作成等に役立てられています。

統一された規格で集計されているため、自院と他院の比較が容易となり、病院運営の参考とされています。

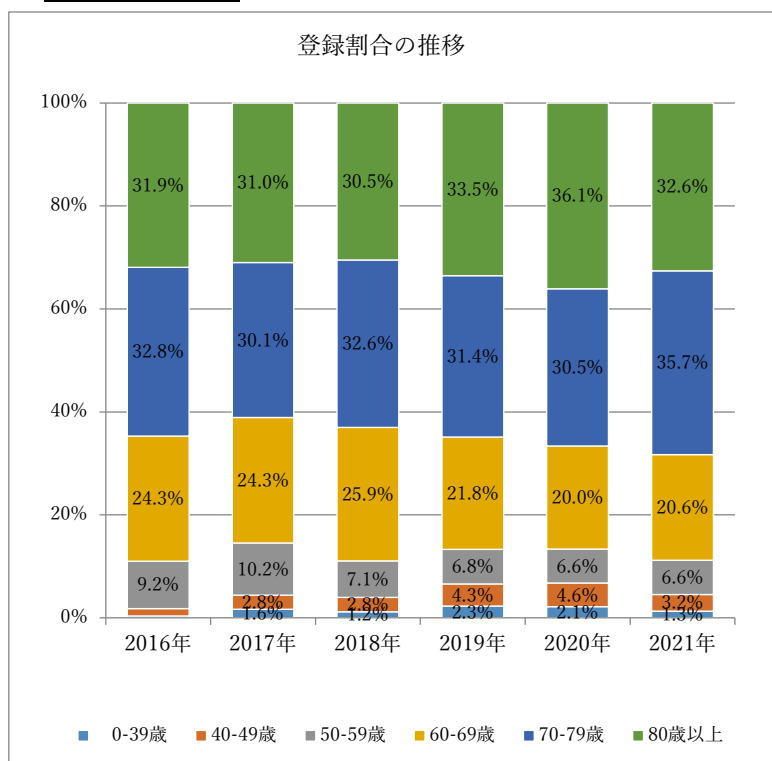
・登録件数の推移



コロナ禍前の2019年までは右肩上がりで件数が増えていました。

新型コロナ拡大の影響で2020年は大幅減少となりましたが、2021年には回復傾向となっています。

・登録年齢の割合



発生部位によって差はありますが、高齢になるほどがんにかかる割合が増加していきます。

当院でも登録患者の90%弱は60歳以上の方となっています。

・地域別患者割合



医療圏*3 でみた場合、9割以上が仙南医療圏の方となっています。

隣接する仙台医療圏からは8%程度、少ないですが県外の方も登録となっています。

・上位5部位の登録割合比較

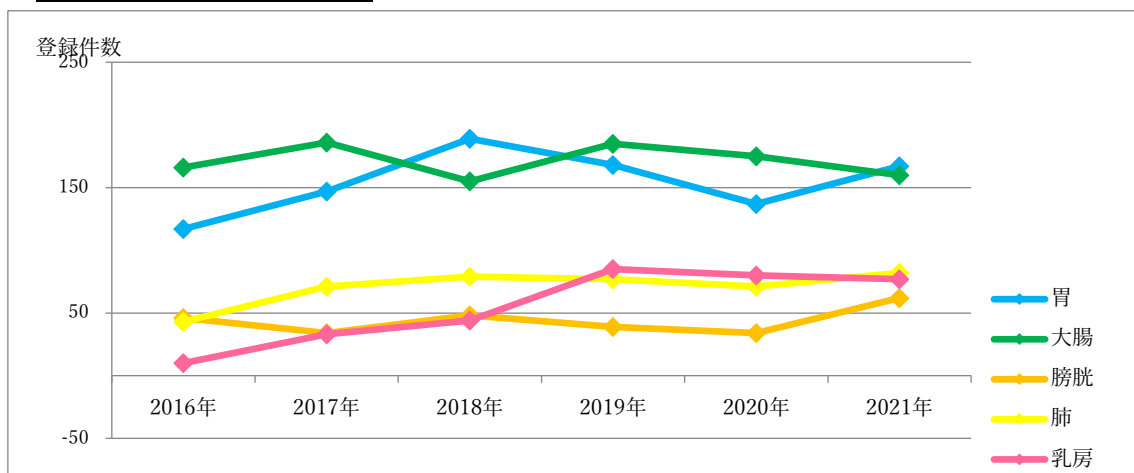
	当院	宮城県	全国
1 位	胃 (18.1%)	結腸・直腸 (14.4%)	結腸・直腸 (14.8%)
2 位	結腸・直腸 (17.3%)	肺 (12.5%)	肺 (11.4%)
3 位	肺 (8.9%)	胃 (11.3%)	乳房 (10.6%)
4 位	乳房 (8.3%)	乳房 (9.1%)	胃 (9.1%)
5 位	膀胱 (6.7%)	前立腺 (7.5%)	前立腺 (8.2%)

※参考資料 院内がん登録全国集計検索システム 2021 年症例

当院では胃と大腸の消化器系部位で登録全体の 3 割以上を占めています。特に胃は全国、県と比較しても割合が高く、診療に力を入れている部位となります。

全国と県で割合の高い肺について、呼吸器外科の常勤医師が当院に配属され、外科手術が可能となったことから、今後割合が増えていく見込みです。

・上位5部位の年次登録推移

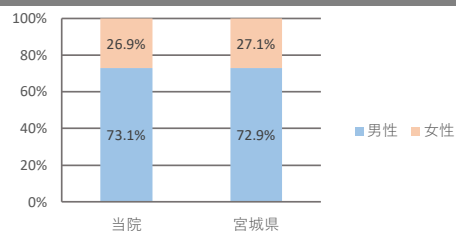


2016 年と比較して大腸は横ばいで、その他の部位は全て増加しています。

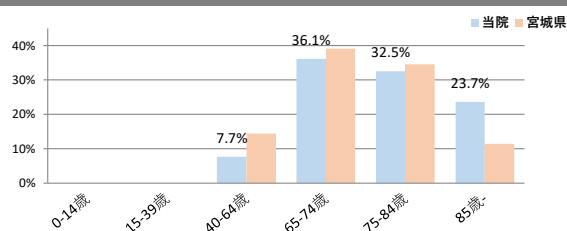
2016 年時点で上位 5 部位が総登録数に占める割合は約 66%でしたが、2021 年では 59%まで減少しています。総登録数は 2016 年から 2021 年の間で 1.7 倍となっていることから、主要部位以外にも幅広く診療していることがうかがえます。

部位別：胃

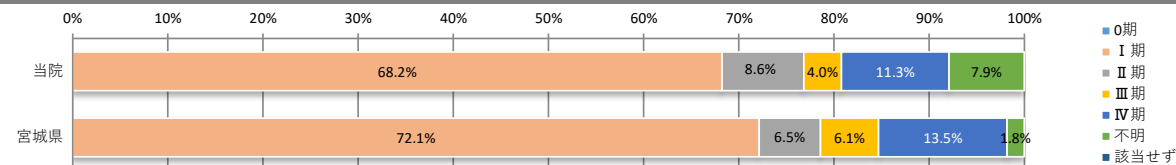
1. 男女割合



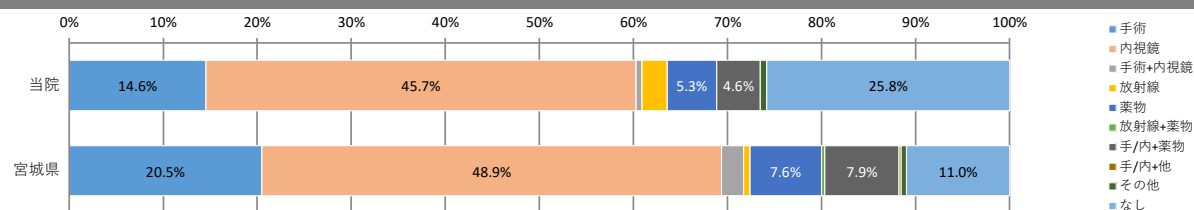
2. 年齢割合



3. ステージ別割合



4. 治療法別割合

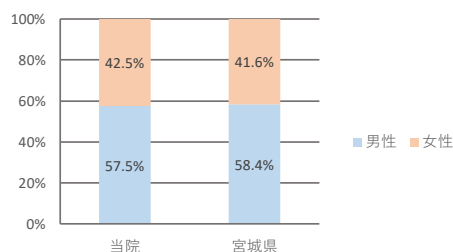


胃がんは男性に多く、65歳以上の高齢者が大多数を占めています。

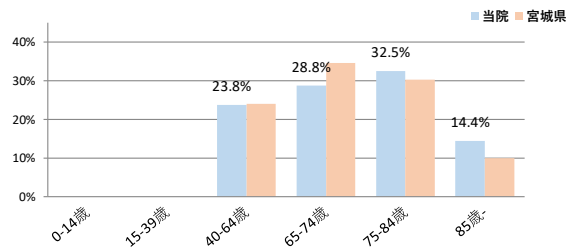
県全体と同じように、内視鏡治療、手術、化学療法や複合的な治療を実施しています。ただ85歳以上の超高齢者が多いため、「治療なし」となる割合も高くなっています。

部位別：大腸

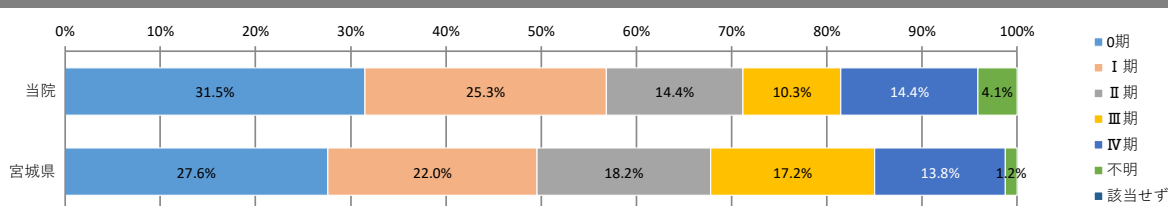
1. 男女割合



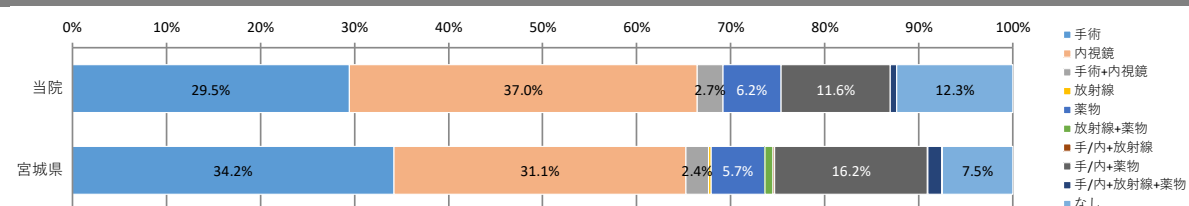
2. 年齢割合



3. ステージ別割合



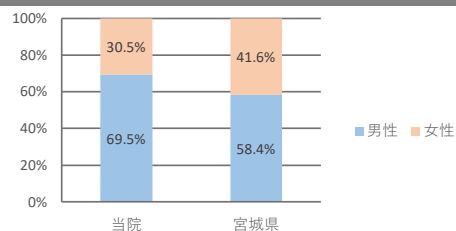
4. 治療法別割合



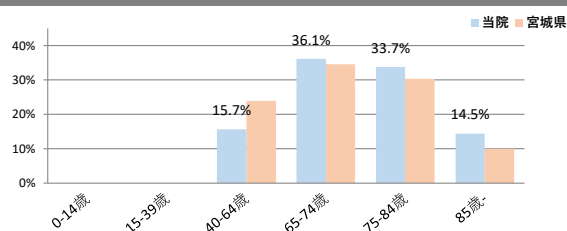
大腸がんは男性に多いですが、女性も4割程度罹っており、胃がんと比較すると若い世代の割合が高くなっています。当院では県全体と比較して、早期の大腸がんの治療を多く行っており、それに伴い内視鏡治療の割合が高くなっています。

部位別：肺

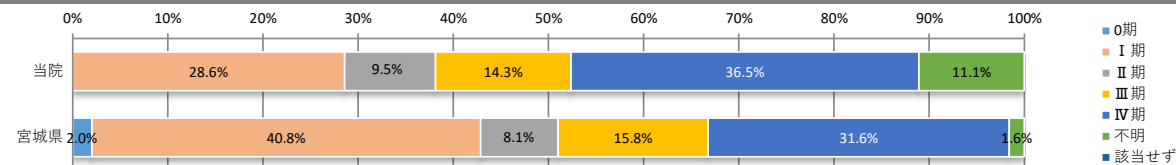
1. 男女割合



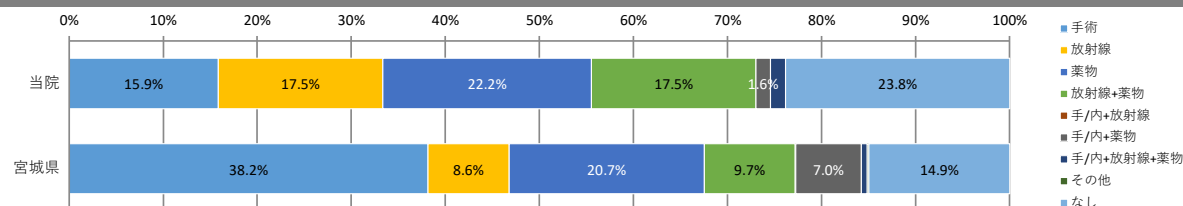
2. 年齢割合



3. ステージ別割合



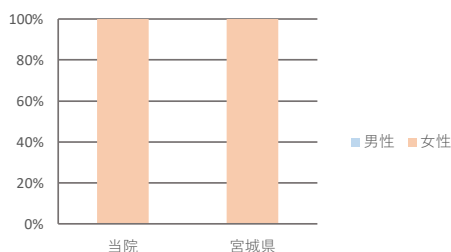
4. 治療法別割合



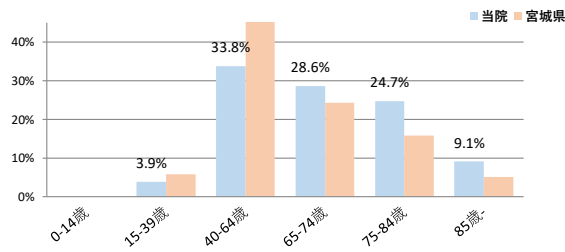
肺がんは男女割合も年齢割合も大腸がんと似ていますが、ステージ4の割合がかなり高い疾患となります。現状では当院の手術割合は低いですが、呼吸器外科の常勤医師が着任したため、今後の治療件数増加を見込んでいます。

部位別：乳房

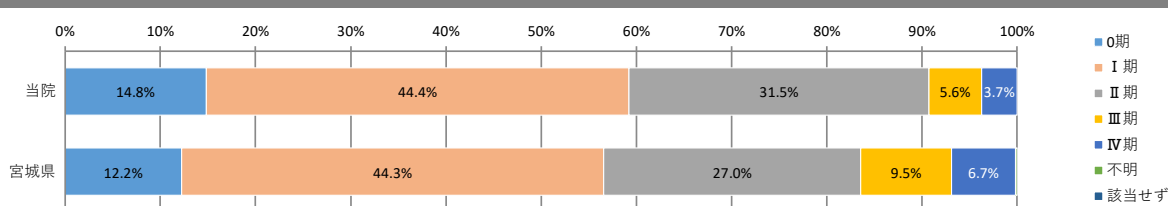
1. 男女割合



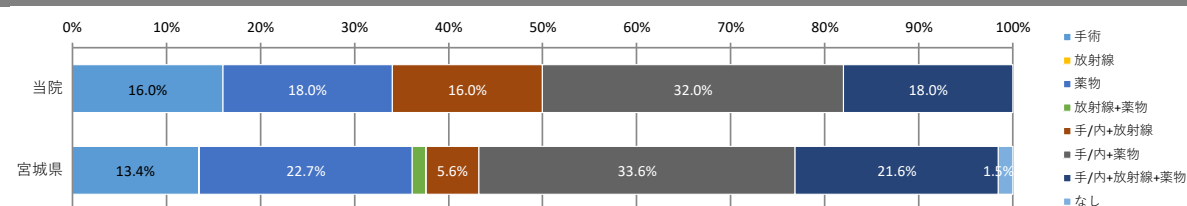
2. 年齢割合



3. ステージ別割合



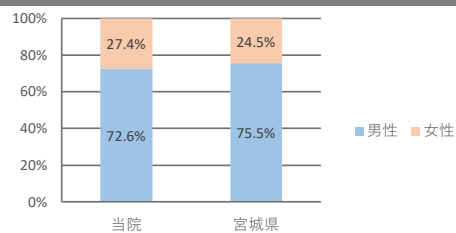
4. 治療法別割合



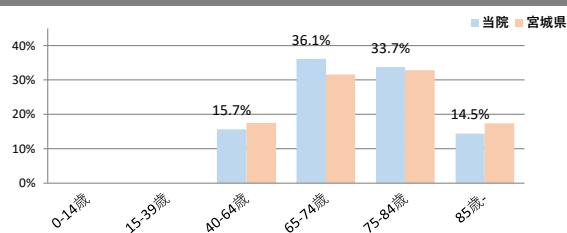
乳がんの殆どは女性ですが、希に男性にも発症します。また、若年層も比較的罹りやすい疾患です。乳がんの治療は手術に放射線や化学療法を組み合わせた複合的治療を行うのが特徴です。当院でも他の施設と同様に適切な治療を組み合わせで診療を行っています。

部位別：膀胱

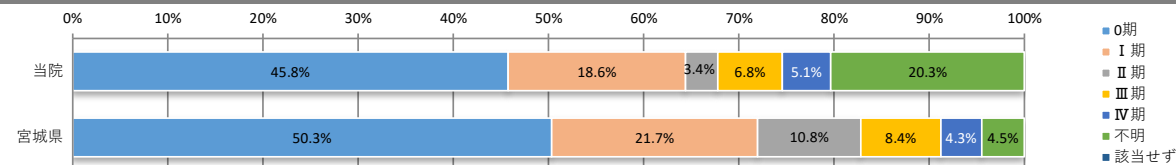
1. 男女割合



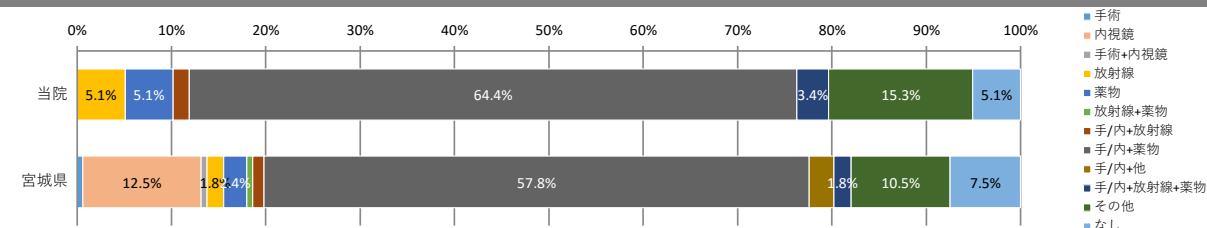
2. 年齢割合



3. ステージ別割合



4. 治療法別割合



膀胱がんは男性に多く、比較的若い世代にも発症します。

治療法は内視鏡と薬物療法を組み合わせた治療が最も多い方法となります。また、自己免疫を強化してがんを攻撃する免疫療法（その他に該当）が多いのも特徴です。

用語解説

【国の法律】：2007年施行の「がん対策基本法」と2016年施行の「がん登録推進法」が主な根拠となっています。

【地域がん診療病院】：隣接する医療圏（下記参照）の拠点病院と連携し、専門的ながん診療や医療相談、情報提供等を行う病院となります。がん診療連携拠点病院のない二次医療圏において、都道府県の推薦により国が指定を行います。

【医療圏】：それぞれの地域に応じた医療を提供するために設定された区域のこと。一次から三次まであり、基本的に一次は市町村、三次は都府県で分けられています。二次医療圏は複数の市町村がまとまって構成されており、当院は宮城県の仙南医療圏に属しています。

【ステージ】：がんのステージは、がんがどの程度進展しているか（T）、周辺のリンパ節に転移があるか（N）、遠くの臓器に転移があるか（M）の3つの要素によって決定されます。各要素はアルファベットと数字で記載され（例：T2N0M1）、この組合せにより、0～4の五段階にステージ分類されます。この数字が大きくなるほど広範囲にがんが広がっていることを表しています。

グラフデータについて

男女割合や性別割合などで極端に数値が低い場合、個人の特定が出来ないように0%あるいは数値を削除してグラフを作成しております（実際に件数が0の場合もあります）。